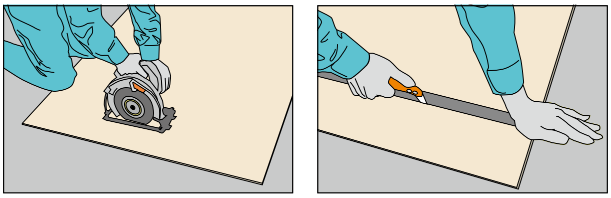
施工方法

加　工

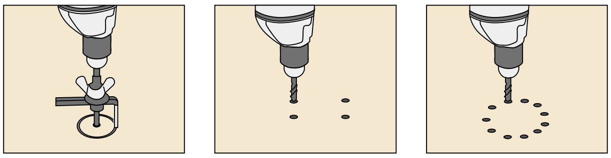
1. 切断

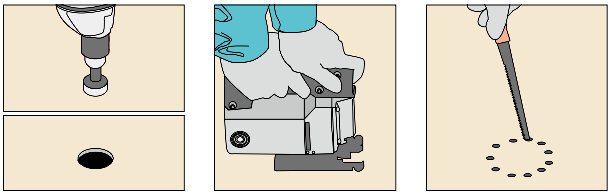
- ●スレートノコ、電動ノコ（チップソー）を使用する。
- ●荒切りを行う場合は板の表裏面にカッターナイフで数回切り目を入れ、化粧面を外側にして折り曲げる。
- ●切断後は、ヤスリ、サンドペーパーなどで、木口仕上げとする。



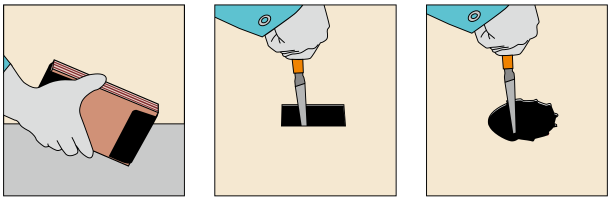
2. 穴あけ、切り欠き、木口仕上げ

- ●小穴はハンドドリル、電気ドリルを使う。
- ●配管、配線用の穴はホールソーであけるか、小穴（φ12以上）をあけた後、ジグソーで切断する。





- ●材料に切り欠きを入れる場合は、必ずコーナー部分に小穴（φ12以上）を開け、その後電動ノコなどで切断する。
- ●切断、穴あけ後は、ヤスリ、サンドペーパーなどで、木口仕上げとする。
- ●コンセントボックスや金具を取り付ける場合は、クラックの発生の恐れがあるため、ビスなどは締め過ぎないようにしてください。



施工方法
標準施工法(両面テープ+接着剤併用工法)

推奨テープ：TMテープW-1（コニシ㈱）、ボードタック（㈱タイルメント）
接着剤：MPX-1（コニシ㈱）、MK-720（㈱タイルメント）

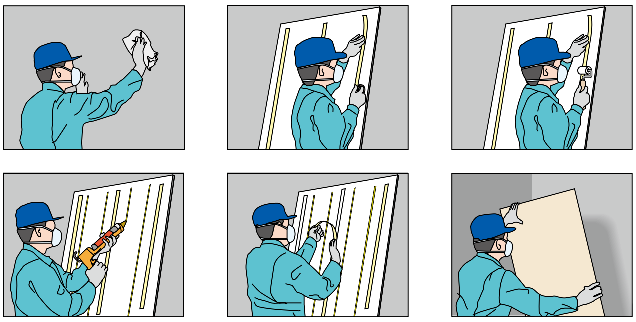
施工

（下張り材：エコラックス8mm以上、せっこうボード9.5mm以上）

両面テープと接着剤を併用してください。

1. アスラックスの接着

- 油分、ホコリなどの汚れを取り除く。
- アスラックス裏面の所定の位置に両面テープを貼り付け、ローラーや指で押し付けて十分に密着させてください。
- 接着剤を、アスラックス裏面に塗布して位置合わせをし、両面テープと接着剤の位置を十分に加圧し下張り面と密着させる。
- 圧着が不十分の場合、端部に浮きが出る場合がありますので、再度十分に圧着してください。
- 貼り合わせ後、夏期1日以上、冬期3日以上外力が加わらないよう養生する。



2. 目地部の処理

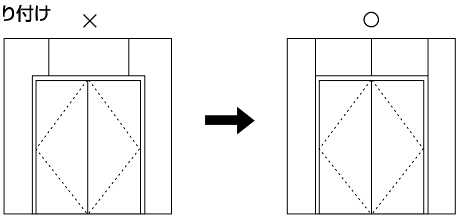
1) 目すかしシーリング工法

- 目すかし幅は3mm以上とし、シーリング材を充填する。
- シーリング工法の場合、事前にアスラックスの木口にプライマー処理をし、十分乾燥させる。

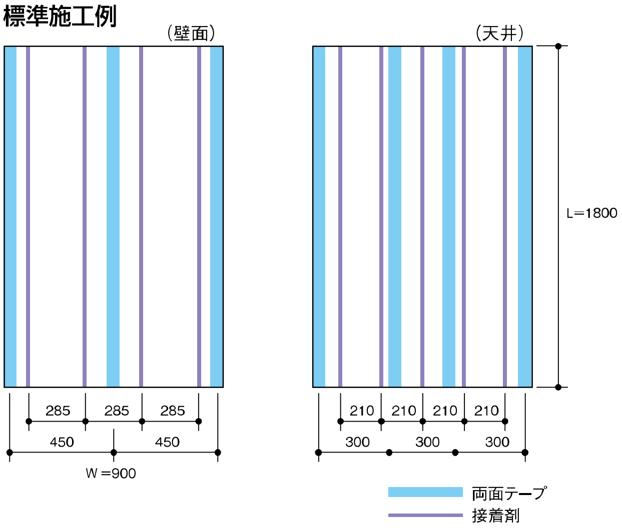
2) ジョイナー工法

- ジョイナーは両面テープや接着剤（必要に応じ、ねじまたはくぎ）にて固定する。

ドア廻り割り付け



標準施工例



- 両面テープはボードの端から5～10mm以内に貼付ける。
- 両面テープピッチは、壁面450mm以内、天井300mm以内とする。
- 接着剤は直径8mmのビート状塗布とし、塗布ピッチは壁面300mm以内、天井220mm以内とする。

施工方法

NEW! 簡易施工法(接着剤のみ工法)

接着剤のみの施工が可能で、施工にかかる時間が短縮できます。
下地材への貼り合わせ後に微調整が可能なので入隅、出隅部などの施工に適しています。

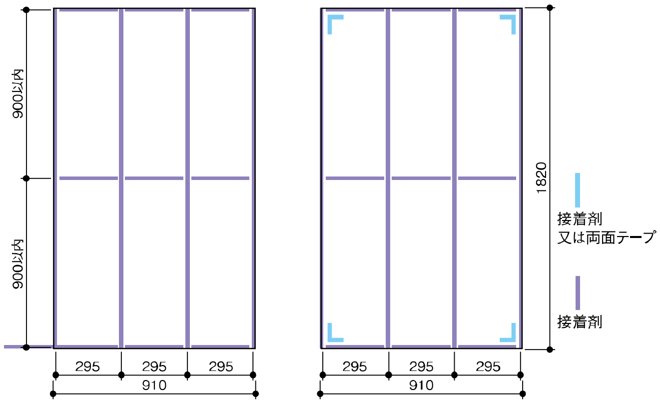
必ず専用の接着剤を使用してください。ペンギンセメント™ 2670(サンスター技研㈱)

※「ペンギンセメント」はサンスター技研㈱の商標です。

化粧板(アスラックス)の接着

①下地材表面とアスラックス裏面のホコリなどの汚れを取り除いてください。
②アスラックス裏面の所定の位置に接着剤を塗布してください。接着剤の塗布には専用のノズルを使用してください。

【接着剤の塗布位置】



注1)　接着剤はボードの端から5～15 mm以内に塗布してください。
注2)　3’ × 8’、3’ × 9’サイズにも900 mmピッチ以内でヨコ方向に接着剤を塗布してください。
＊　反りが10～15 mm程度の場合は、コーナー部に接着剤又は両面テープを併用してください。

③所定の位置にアスラックスを貼り合わせ、接着剤の位置を十分に加圧し下張り面と密着させてください。この時、アスラックスは床側から貼り付け、床から浮かして貼る場合は、床との間にスペーサーを挟んで貼り付けてください。スペーサーは接着剤が硬化して板が動かない事を確認してから取り外してください。(接着剤の初期硬化には約30分程度かかります)
注)圧着が不十分の場合、端部に浮きが出る場合がありますので、圧着は必ず行ってください。

④貼り合わせ後、24時間以上外力が加わらないように養生してください。

注意点

施工上の注意点

- ●接着剤のみでの施工は、壁面のみとし天井面には施工しないでください。(天井面は両面テープを併用する標準施工で施工してください)
- ●下張り材は凹凸のないよう、フラットに仕上げてください。
- ●エコラックスなどのケイカル板を下張り材に使用する場合はシーラー処理をしてください。
- ●ドアなど開口部(空調、点検口、照明器具)へ施工する場合はクラックの原因となりますので、アスラックスに切り欠きを入れず目地を設けてください。
- ●切り欠きを入れる場合は、必ずコーナー部分に小穴(φ12以上)を開け、コーナーをRにして、切断してください。
- ●本製品は表裏面の仕上げが異なるため反りが生じます。反りの反発や接着不良などで施工しづらい場合には、テープを多めに貼ったり、下張り材の清掃をするようにしてください。また充分に接着剤が硬化するまで化粧板を押さえてください。
- ●マスキングテープを使用する場合は、紙素材の粘着力の弱い建築塗装(内装)用マスキングテープを使用し、剥がす場合は、180°逆方向にゆっくり剥がしてください。また、ガムテープ、シールなどは貼らないでください。テープは長期間貼ったままにしないでください。
- ●タオルハンガー、トイレットペーパーホルダーなどの備品を取り付ける場合は、ネジなどを使用し、必ず胴縁などの下地に取り付けてください。
- ●接着方法に関する施工要領および詳細は接着剤メーカー、両面テープメーカーにお問い合わせください。
また、メーカーの施工要領に従ってください。
- ●タッチアップ塗料には、抗菌性能はありません。
- ●天井への施工は、910mm×1820mmまでのサイズとし、安全のため二人以上で施工してください。
- ●接着時に手やゴムハンマーなどで叩いて、衝撃を加えないでください。
- ○冬期で気温が低く、接着しづらい場合は、以下の両面テープと接着剤を使用してください。(標準施工法のみ)
・両面テープ:コニシTMテープW-1(使用環境0℃以上)
・接着剤:コニシMPX-1(使用環境5℃以上)
また、接着しにくい場合は両面テープと接着剤は温めてから使用ください。

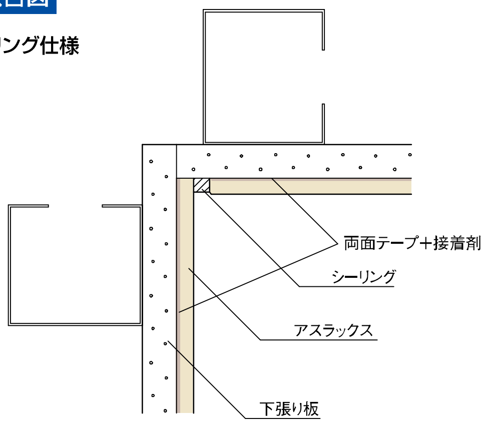
●は、標準施工法および簡易施工法の注意点
○は、標準施工法のみの注意点
●は、接着剤工法のみの注意点

アスラックス®の施工図（アスラックス® 200R,600R）

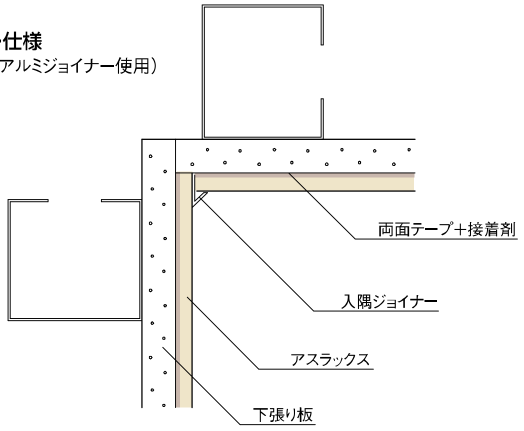
一般内装工法

入隅取合図

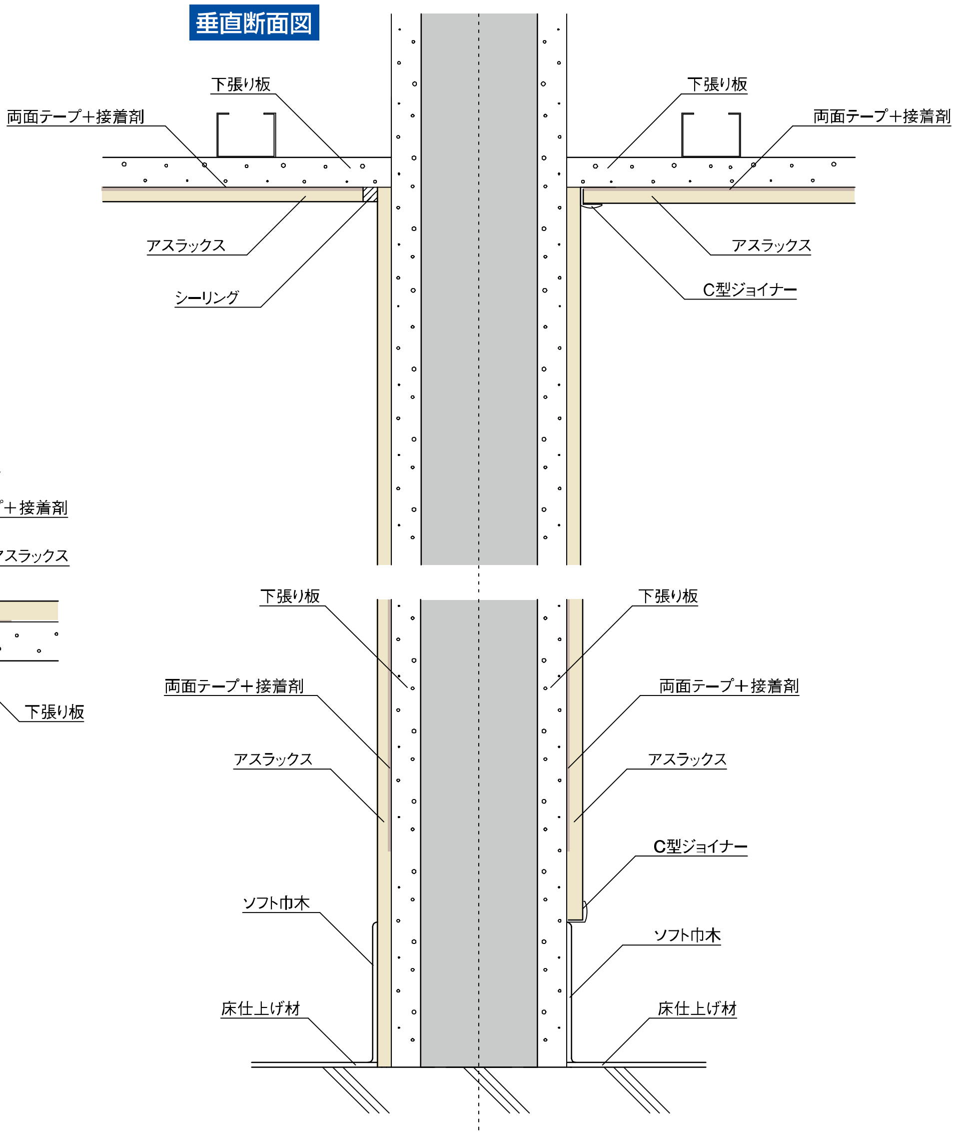
●シーリング仕様

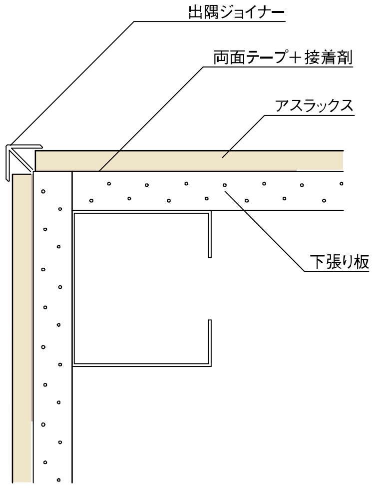


●ジョイナー仕様
（ニチアス製アルミジョイナー使用）



垂直断面図



出隅取合図

●ジョイナー仕様
（ニチアス製アルミジョイナー使用）